

小学校 第5学年 外国語科 学習指導案

東京都板橋区立上板橋第四小学校
主任教諭 曾根原 加果

単元名 Lesson 6 Where do you want to go? (7時間)

単元のねらい クラスの友達と一緒に行ってみたい都道府県や季節、その場でできることやしたいことについて、その内容を聞き取ったり、伝え合ったり、話したりすることができる。また、アルファベットの大文字を書くことができる。

本時のねらい 互いのことをよく知り合うために、行ってみたい都道府県を尋ねたり、やり取りをしたりすることができる。(第4時)

指導時期 10月～11月頃

指導者用デジタル教科書(教材)活用の意図・目的

「指導者用デジタル教科書(教材)」は、クラス全体で音声や動画をいつでも何回でも視聴できる点で有効である。例えば、単元で扱う表現を学級全体で確認する場面や、その後のコミュニケーション活動に向けた練習の場面において活用することができる。

また、「学習者用デジタル教科書」を授業の中で活用することも、あわせて考えたい。児童一人一人が単語やフレーズを知りたいと感じたその時に調べたり、音声を聞いたりするためにも役立つ。

本単元では、自分が行きたいと思う場所や、やりたいことの表現について、言語活動を通して学習していく。学級全体で確認したい表現等について、「指導者用デジタル教科書(教材)」を用いて確認し、一人一人が異なる表現を用いる場面では、「学習者用デジタル教科書」を活用する。このように2種類のデジタル教科書を効果的に活用することで、よりねらいに近づくことができると考えている。

本時(第4時)の展開

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
導入	<ul style="list-style-type: none"> 「指導者用デジタル教科書(教材)」の初期画面を開いて、コンテンツを起動する。 「学習者用デジタル教科書」の初期画面を開いてコンテンツを起動しておくよう声をかける。 <p>1 Greeting</p> <ul style="list-style-type: none"> HRTとあいさつ、日付、天気等のやり取りをする。 <p>2 Today's Goal</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元のゴールと本時のめあてを確認する。 	
	<p>互いのことをもっと知るために、自分が行きたい都道府県ややりたいことを伝えたりたずねたりしよう。</p>	

3 Activity 2

- イラストの2人のやり取りを一度視聴し、分かったこと、聞き取ったことを確認する。(一斉指導)
- 聞き取った表現を用いて、行きたい場所を尋ねたり、伝えたりする表現を練習させる。



(提示画面)



(音声画面)

- 児童が操作に迷わないように、「学習者用デジタル教科書」にも掲載されている二次元コードより、音声を再生する。
- 音声を流しながら、イラストの絵を表示し、児童がイメージを共有しやすいようにする。
- 児童の聞き取り状況に応じて、「学習者用デジタル教科書」で、個別に聞く時間を設ける(個別学習)。表現が難しい場合は、何度も音声を聞き、自信をもって発話できるようにする。
- 教科書 p.66 ~ の名所・名物マップを用いて、行きたい場所やしたいことについて考えさせる。
- 表現に困った児童に対しては、「指導者用デジタル教科書(教材)」で該当の音声を何度も聞くことができるようにする。

- 自分の行きたい場所とそこでしたいことを考え、練習させる。(個別学習)
- ペアを変えて、複数回やり取りすることができるようにする。アドバイスをし合ったり、相談し合ったりしているペアを取り上げ、全体に共有する。
- 自分の行きたい場所やそこでやりたいことについて友達とやり取りをすることを通して、本時の学習表現を繰り返し発話する。



展開

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用																																							
展開	<p>(例)</p> <p>A : Where do you want to go? B : I want to go to Hokkaido. A : Why? B : I want to see the Furano lavender fields.</p> <ul style="list-style-type: none"> ●活動の途中で中間評価を行う。困った表現や、行きたい場所についてさらに詳しく説明する表現について触れる。 <p>(中間指導後に増やしたい表現)</p> <p>A : Do you like flowers? B : Yes, I do. I like flowers. My favorite flower is lavender. So, I want to go to Hokkaido.</p> <ul style="list-style-type: none"> ●やり取りした友だちの発話内容をメモさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●既習の表現については、「学習者用デジタル教科書」を用いて、自分の課題に応じたリスニングをするよう指導する。 <div data-bbox="842 264 1474 680" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Activity 2 好きなものをたずねあおう。</p> <p>1 What <input type="text"/> do you like? 2 I like <input type="text"/>.</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>color</th> <th>sport</th> <th>animal</th> <th>food</th> <th>TV program</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>あなた</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>友達</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>友達</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><small>© My Word Bank 色・スポーツ・動物・野菜・果物 (p.108-110) / 食べ物・デザート (p.113)</small></p> </div> <p>(I like ~ . を使用したい場合 p.16)</p> <div data-bbox="842 757 1474 1554" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: right;">Lesson 6 >>>></p> <p>Activity 2 行ってみたい都道府県をたずねあおう。</p> <p>1 Where do you want to go? 2 I want to go to <input type="text"/>.</p> <p>3 Why? 4 I want to <input type="text"/>.</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>名前</th> <th>都道府県</th> <th>理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">Qq seventy-one 71</p> </div>		color	sport	animal	food	TV program	あなた						友達						友達						名前	都道府県	理由												
	color	sport	animal	food	TV program																																				
あなた																																									
友達																																									
友達																																									
名前	都道府県	理由																																							
まとめ	<p>4 Reflection</p> <ul style="list-style-type: none"> ●友達とのやり取りや学習をふり返らせ、次時の見通しをもたせる。 <p>5 Greeting</p> <ul style="list-style-type: none"> ●次時の確認をして終わりの挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●表計算ソフト等を用いて、個人のふり返りを共有し、互いの学びを高め合えるようにする。 ●学習したことを記録に残すために、やり取りを動画で撮影し、提出させる。 																																							

指導者用デジタル教科書（教材）を活用したことで得られた効果

【指導者側が得られる効果】

ALT がいない場面において、デモンストレーションやモデル表現を提示する際、「指導者用デジタル教科書（教材）」を用いることが考えられる。単元で学ぶ言語材料等を、状況や場面も含めた動画等を用いて学習することで、児童がその単元の主な表現について把握し、単元のゴールを設定することが可能となる。加えて、共通の音声を聞き取り、学級全体で話し合うことで、その時間に学ぶ表現を焦点化することもできる。

また、「学習者用デジタル教科書」を用いることで、児童自身が必要とする表現に触れることができるため、個別指導等の時間を設定しやすくなる。さらに、児童が使いたい表現を指導するのみで終わらず、その表現を用いてどのように伝えるのが効果的なのかといった点も指導することが可能となる。

【児童側が得られる効果】

「指導者用デジタル教科書（教材）」の動画や音声を視聴することを通して、その時間に学習する英語表現について学級全体で何度も聞くことが可能である。共通の音声を学級全体で聞くことで、聞き取った表現について友達と共有し、理解を深めることができる。また、本物の音声に触れることで日本語の音との違いに気づくことも可能となる。

さらに「学習者用デジタル教科書」を併用することで、児童自身が、聞きたいと感じた表現や単語を個別に聞き取ることができる。また、音声のスピードを変化させて聞き取ることができるため、児童は自分が分からない表現の仕方について調べたり聞いたりすることができ、自信をもって表現することができるようになっていく。

【指導する上で気をつけていること】

● 場面や状況等と音声を関連づけて聞かせること

「指導者用デジタル教科書（教材）」の音声等を視聴する際には、聞き取ったことからどのような状況、場面であるのか、予想する時間を設けている。教師が意味を伝えていくのではなく、状況や場面の中から推測させることで、学ばせたい表現と意味を児童自身で繋げることができるようにしている。

● 「学習者用デジタル教科書」、紙の教科書の選択は児童にさせること

「サッと単語を調べることができる」のは紙の教科書、「音声を聞く」のは「学習者用デジタル教科書」など、児童自身が自分の悩みに応じて、選択できるように指導していくことが必要である。そのためには、全体で聞くことを通して、「学習者用デジタル教科書」の使い方を学ぶこと、自身で実際に操作することで自分の学びに応じた「学習者用デジタル教科書」の使い方を習得していくことなど、「学習者用デジタル教科書」に慣れ親しむ時間を設ける必要がある。

【継続していくことでみられる変化】

「指導者用デジタル教科書（教材）」を活用し、音声を何度も聞く場面を設定することで、児童は状況や場面と関連づけ、未習の表現であったとしても、推測し、意味づけることができるようになってくる。児童が表現やその理解の曖昧な状況に慣れ、既習のものも含めて習得した知識を関連づけながら聞き取った情報を理解しようとする姿が見られるようになったと感じている。

また、以前は「先生、この表現を教えてください」といった発言や特定のサイトを用いて翻訳しようとする姿が多く見られていたが、「学習者用デジタル教科書」を活用することで、自分に必要な表現や音声を確認することができるため、児童自身が既習の表現を活用してコミュニケーションをとろうとする姿が見られるようになっていくように感じている。